

# さわらび

2021. 3. 1 No. 35 文責：大塚

2月26日（金）の学校運営協議会で委員の皆様からご意見をいただき、下記の「令和2年度 学校評価書」が完成しました。この1年間の本校の取組の振り返りとして、ご一読いただければと思います。

令和3年3月1日

## 令和2年度 学校評価書

四万十市立蕨岡中学校  
 学校長 大塚明人 印

### 1. 学校教育目標

「自立・貢献」できる生徒の育成

### 2. 本校の現状

本校は、令和2年度末での休校、次年度からの四万十市立中村中学校への統合が決まっており、現在の生徒数は全校生徒3名（3年生のみ）である。  
 令和元年度高知県学力定着状況調査における平均正答率は71.6%（全国比+15.0p）、記述式問題は64.4%（全国比+26.2p）であり、全体的には目指す学力を習得しつつあるが、思考力・判断力・表現力の基礎となる各教科の基本的な知識・理解のレベルをさらに高めることも目指さなければならない。また、家庭学習には取り組めるが、自主的な予習・復習は十分とはいえない。  
 生活全般にわたってはまじめな生活が送れており、夢・志や自己肯定感等にかかわる部分では、前年度より自信をつけて発表や行動できる姿があった。そのうえで、校外に出たときのあいさつや積極的に関わろうとする姿勢などは、もっと伸ばしたいところである。部活動は少人数のため全員で陸上競技に取り組んでいる。

### 3. 本年度の評価項目

- [1]学力向上
  - ①学力向上のための組織的な校内研修等の取組
  - ②子どもにわかる授業づくり
  - ③予習・復習の質と量を高める取組
- [2]生徒指導
  - ①いじめの防止等のための取組
  - ②不登校(傾向)対応の予防と支援
  - ③豊かな心の育成
- [3]学校・家庭・地域の連携・協働
  - ①小中の円滑な接続の推進
  - ②みんなであいさつ運動
  - ③PTA・各学校支援組織との連携
- [4]働き方改革(業務改善)
  - ①タイムマネジメントを意識した会議・研修の実施
  - ②定時退校日の確実な実施
  - ③最終退校時刻を意識した職務推進
- [5]休校関係
  - ①校内備品等の計画的な整理
  - ②休校記念事業の円滑な実施

### 4. 自己評価

評価項目		評価指標	取組状況・成果	評定	次年度の方策
大	中				
	①学力向上のための組織的な校内研修等の取組	○講師を招聘し、全教員が本校の授業の視点に沿った研究授業を行い全体で協議する。 ○毎週水曜日を基本として、必ず学力に関わる研修を設定する。 ○校内研修においては、全員が積極的に発言する研修を行う。	○計画通りに授業研を実施してきた。校長を含めても4名の教員なので、研修方法を工夫して書く時間も多かつた。 ○毎週月曜日を基本として、学力向上に向けて研修する場を設けた。 ○教員全員がベクトルをそろえて、主体的に参加して校内研修を行えた。	3	令和2年度末で休校のため記載しない。(以下、同じ)

〔1〕学力向上	②子どもにわかる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業改善プランに基づいた各教科の実践を推進する。</li> <li>○学期に1回以上、思考力問題に集中して取り組む時間を設定する。</li> <li>○授業アンケートの肯定的評価100%。</li> <li>○校内定期テストの記述式問題正答率80%以上。</li> <li>○数学単元テスト正答率75%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業改善プランに基づいた各教科の実践を行うことができた。</li> <li>○思考力問題については、各教科で単元の最後に取り入れるなど計画的に活用した。</li> <li>○授業評価アンケートは肯定的評価100%であった。</li> <li>○数学単元テストの平均正答率は86.8%、定期テストの記述式問題平均正答率は79.2%であった。前年度の課題であった基礎基本の定着は徐々に改善されてきた。</li> </ul>	3	3	
	③予習・復習の質と量を高める取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科の特徴を生かした予習・復習を確立して、授業との連携を図る。</li> <li>○実施把握と生徒・保護者への支援を定期的実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習の実態把握は校内研で定期的実施して、生徒の学習方法についてアドバイスしてきた。保護者への支援は毎学期の面談時に取組を共有した。</li> </ul>	3	3	
〔2〕生徒指導	①いじめの防止等のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QUを年間2回、いじめに関するアンケート年間3回を計画的に実施する。</li> <li>○SCと連携して生徒の変化を見逃さない体制を作る。</li> <li>○生徒情報の共有を毎日行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QUを年間2回、いじめに関するアンケート年間3回を計画的に実施。個々の変化を理解することに役立てた。</li> <li>○SCの不在期間の情報を職員室通信等を活用して共有した。</li> </ul>	4	4	
	②不登校(傾向)対応の予防と支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1②子どもにわかる授業づくり」「2①いじめ防止等の取組」に加えて</li> <li>○生徒作品が掲示されている学校環境。</li> <li>○生活日誌を活用したきめ細かい指導の継続。</li> <li>○生徒主体の学校行事の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒作品を廊下等に掲示して、存在を認め合った。</li> <li>○生活日誌を通して学級担任とつながり、きめ細かい支援を行えた。</li> <li>○生徒が自分たちだけで本番をやりきる体験を積み重ねてきた。</li> </ul> <p>不登校の未然防止のための取組を1つ1つ丁寧に実践してきた。</p>	4	4	
	③豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳教育・人権教育の推進を図り、保護者・地域の方を対象とした公開授業を各1回以上行い、連携した取り組みを目指す。</li> <li>○総合学習を活用しての、キャリア教育・ふるさと教育の充実。</li> <li>○自己肯定感に関する調査での肯定的回答100%。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳参観日は12月に実施した。保護者も参加して考え合った。人権参観日は1月に実施した。ワークショップ形式で、SDGsについて共に学び合った。</li> <li>○総合学習「蔵岡マップを作ろう」を中心として、ふるさと教育・キャリア教育を推進した。</li> <li>○自己肯定感に関する調査では肯定的回答66%であった。</li> </ul>	3	3	
〔3〕学校・家庭・地域の連携・協働	①小中の円滑な接続の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中管理職の情報交換・協議を十分に行い、取組の方向を確かめ合う。</li> <li>○保小中合同職員会(学期に1回)、わたけノビノビ会役員会・行事(年間5会以上)などを活用して、計画的・継続的に学力と生活についての連携をすすめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中管理職の情報交換や協議を十分行うことで、次年度に向けての方向性や具体策を形として示すところまでできた。</li> <li>○コロナ禍のため、どの会議も計画していた回数は行っていないが、必要な取り組みを行いつつ次年度への道筋をつけている。</li> </ul>	4	4	
	②みんなであいさつ運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回+交通安全週間に生徒会執行部が中心となり、あいさつ運動を行うとともに、部活動等でのあいさつ等、礼儀の大切さを常時指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本校の伝統として継続してきたあいさつ運動は、生徒と教員が一緒に関わって行えた。生徒のあいさつも向上しつつある。</li> </ul>	3	3	
	③PTA・各学校支援組織との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各組織の定例会議を計画的に行い(PTA役員会4回、学校運営協議会3回等)、地域・保護者との信頼関係を構築しながら実践をすすめる。</li> <li>○地域学校協働本部の活用によって、教育活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会は例年の5回から3回に減らして行ったが、委員のほとんどが体校記念事業実行委員を兼ねているので、十分な連携・協議は行えた。</li> <li>○地域学校協働本部事業は、コロナ禍の影響のない部分で有効に活用して学校の教育活動を支えた。</li> </ul>	4	4	

〔４〕働き方改革（業務改善）	①タイムマネジメントを意識した会議・研修の実施	○職員会・校内研は、１７時を目処として勤務時間内での実施を目指す。 ○タイムマネジメントを意識した具体的取組としては、 ①訂正の必要のない提案資料 ②開始時刻を守った会議 ③確認事項・協議事項の区別を全員が共有する。	○極小規模校で兼務教員が来校しての授業もあり、また、コロナ禍で職員の出張・悉皆研修も激減したので、授業時間内に職員会・校内研を実施した。また、タイムマネジメントを意識した取り組みも行い、時間的なゆとりを持つことができた。	4	4
	②定時退校日の確実な実施	○水曜日を基本とした定時退校日を設定して、１８時３０分までに全員が退校する。 ○職員会・校内研を他の曜日に実施したときも同様とする。	○極小規模校で兼務教員が来校しての授業もあり、また、コロナ禍で職員の出張・悉皆研修も激減したので、授業時間内に職員会・校内研を実施して確実に退校時間の目標を達成した。	4	
	③最終退校時刻を意識した職務推進	○定時退校日以外は、１９時３０分を最終退校時刻として、毎月８０％以上の達成を目指す。	○最終退校時刻は100％達成した。	4	
〔５〕休校関係	①校内備品等の計画的な整理	○四万十市学校事務支援室と連携して、スケジュール管理に基づいた余裕を持った処理をする。 ○法令に基づいた適切な処理を行う。	○四万十市学校事務支援室と連携して、休校に向けての備品廃棄、他校への移管等を計画的に実施できた。	4	4
	②休校記念事業の円滑な実施	○学校を事務局として、実行委員会の役割と事務局の役割を分担して取り組む。 ○記念誌・記念碑・式典等を予定通り完成・実施する。	○休校記念事業は計画通り実施できている。 1月未…休校記念誌完成、配布 2月未…休校記念碑完成 3/13…休校記念碑除幕式 休校記念式典	4	

4段階評価（4 目標を十分に達成、3 ほぼ目標を達成、2 やや不十分、1 改善を要する）

## 5. 学校関係者評価

○11月の集会にゲストとして参加した。3人の中学生が何も見ずに自分の言葉で発表できていた。学校の取組として、いろいろな人に会い関わる機会を大事にしてくれた。また、生徒たちがいろいろな角度から物事を経験してきた。このことはきっと生徒たちがおとなになったとき生きてくると思う。また、コロナ禍のため例年よりは保・中のかかわりは少なかったが、今年度の運動会などでの中学生の自然な関わりは、保・小のお手本となるものだった。

○3人の中学生は蕨岡中で学んで、蕨岡中を卒業する。蕨岡中でないと学べないこと、例えば地域を掘り下げて学んだり、休校に向けての取組に生徒も関わったりするなどして、最後の在校生としてほんとうにいい経験をしたと思う。

○中学校を支援する立場で活動させてもらったので、生徒と身近に関わることができてありがたかった。コロナ禍でなければ、もっとたくさんの方々幅広くご案内して、参観日や行事をはじめとして日常的に蕨岡中を訪れた人がたくさんいたと思う。

また、本年度の学校評価にかかわるアンケート（地域関係者用）は、下記のような文章で学校長からの依頼として記述のみとしました。次ページに抜粋してご紹介させていただきました。

地域の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、まことにありがとうございます。学校運営協議会の皆様やわたくしノビノビ会の委員の皆様、そして各区長様には、本校の日常の取り組みへの協力に加えて、休校記念事業においても大変お世話になってきたところです。地域とともにある学校として74年間の歴史を刻んできた本校ですが、その流れは今も私たちが実感している毎日です。

さて、この学校評価のためのアンケートは、本年度を振り返ったり、皆様のご意見を次年度の学校経営の参考にさせていただいたりして、よりよい学びを子どもたちに提供するために活用して参りました。しかしながら、今回は3月末で本校が休校になりますので、今年度までのまとめとして自由記述欄としました。「蕨岡中学校の思い出」「最後の卒業生へのメッセージ」等々ですが、分量は皆様の都合のよい適度な長さでかまいませんので、少しでもお書きいただければ幸いです。

## 【地域の皆様から（抜粋）】

■私が卒業したのは1970年、同級生が33人で中学校全体で100人近くいたように思います。校庭が縮小になるまでは、市・郡内の中学校の陸上競技大会が行われていました。我が中学校は、他校より校庭が広く100m直線コースや200mのトラックが取れたことから、他の学校から数多くの選手（生徒）が集合して、賑やかに競技が繰り広げられていたことが脳裏に焼き付いています。また、その頃の部活動は、野球部、テニス部、バレー部、卓球部、剣道部がありました。中でも剣道部は長年にわたり先輩から後輩にかけて活躍をしており、県大会にも出場して、高知市内の上位中学校を相手に勝利したこともあり、「蕨岡中」の名を知らしめる程の強豪でもありました。今では考えられないことですが、竹刀がひび割れた部分をビニールテープで補強して練習に励み、その竹刀を持って試合に臨んだことから、高知の学校から一層別の意味で注目をされた存在となっていたことで、剣道関係者の話題にもなっていたことでした。全国あちこちで休校・閉校になったとの報道を聞くとも胸が痛んでいましたが、いざ母校が「休校」になることの現実を思うと本当に悲痛な思いでいっぱいです。 《祈念》蕨岡中学校卒業生に幸あれ。

■私にとっても母校である思い出深い蕨岡中学校が3月で休校になってしまいます。代々の卒業生たちのたくさんの思い出のつまったこの学校が閉まるのは本当に寂しいのですが、時の流れには逆らえず仕方のないことでしょうか……。最後の卒業生となる虎次君、航聖君、佑希君。私は去年の4月、蕨岡に保育所職員として帰って来て、保育所を通して3人に関わらせていただきました。合同運動会での進行や園児への自然な気遣い、また3人で踊ったダンスはとても感動的でした。それから11月に参加させていただいた朝の集会。自分の考えを自分の言葉で落ち着いて堂々と発表する3人の姿に驚きと感動を隠すことができませんでした。また「蕨岡マップ」の完成度はとても高くはさすがに入っています。少ない人数での中学校生活だったと思いますが、いろんな人に関わってもらいながら、蕨岡中学校ならではの体験と他ではできない勉強ができたんじゃないかと思えます。それがしっかりと3人の中に根付いていて、これからの人生にきっと生きてくると思います。蕨岡中学校最後の卒業生として誇りと自信を持って次のステップへと進んで欲しいと思います。3人の栄えある未来に期待しています。

■蕨岡に生まれ伊才原に嫁ぎ、2人の娘も蕨岡中学校卒業。「栄えあれ蕨岡 たたえん我等が母校」と親子4人で歌った事は親子の絆の一つでした。蕨岡中学校がなくなる……休校……。とても淋しい気持ちですが、私は胸を張って言えます。「私は蕨岡中学校卒業です」と。本当に歴史ある立派な我等が母校です。

■少人数ながら蕨岡中学校を守り、地域の人たちに元気を与えてくださった在校生の皆さんは蕨岡の宝物だったと思います。多人数での中学校生活では得られない友人との関わり、地域の人たちとの関わりは、かけがえのない時間、日々であったと思われます。この体験が、思い出が、心豊かなものになりますこと願っています。校長先生をはじめとする諸先生方、子どもにとって地域にとって、よりよい学校生活としていくために……とご努力いただきましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 1年間を振り返って

地域の皆様、ほんとうにありがとうございます。私たち教職員も皆様の思いを受けとめつつ、思い出に残る卒業式・記念式典を実施します。また、3月末までではありますが、生徒たちが次のステージでも自信持って活動できることを思い描いて教育活動を実施したり、「最後まで校舎や校庭をきれいに使うことが最後の生徒・教職員の心意気」として環境整備も続けていきたいと思えます。

4月からの1年間を振り返ると、皆様同様にコロナ禍と向きあってきた時間でした。そのなかでも刻々と時間は過ぎていきますので3月の卒業・休校も近づいてきました。これまでご紹介してきたように、今年度の総合的な学習の時間では、「蕨岡マップ」を作って地域や市内外に発信することに取り組んできました。生徒たちが自分で見たり読んだりして調べた内容や、地域の皆様からいろいろ教えていただいたことを取り入れて、蕨岡のよさを発信する観光マップとなりました。

日々の教科の授業でも基本的な知識を大事にして答えを求めるとともに、そこに至る考え方を説明する力もつけてきました。その成果として、全国学力・学習状況調査「国語」「数学」（自校採点）では、全国平均を大きく上回る成果を上げています。

本校は、「地域とともにある学校」として、地域の皆様のご協力をいただいて取り組んできました。年度末とともに休校を迎えることとなりますが、これまでのご支援・ご協力について感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

校長 大塚 明人